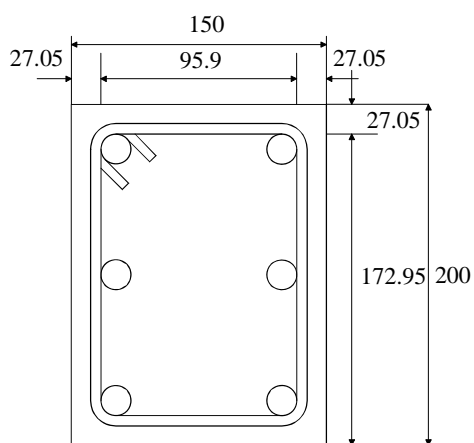


# タイトル: 鉄筋コンクリート梁の載荷実験

担当: 松本啓、吉川弘道、栗原哲彦

試験実施日: 2004年1月4日

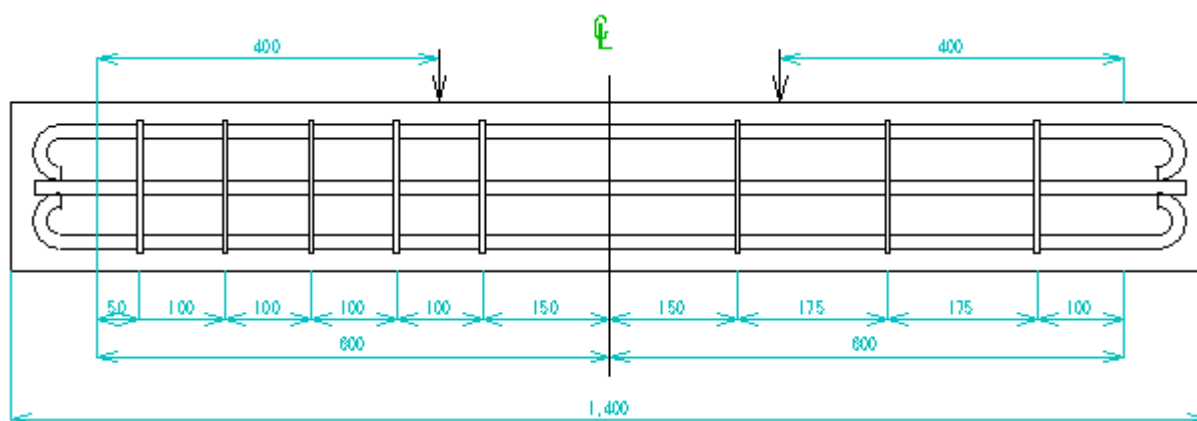
実施場所: 武蔵工業大学 構造実験棟



試験体断面図(mm)

試験体諸元

断面幅(mm)	150
断面高さ(mm)	200
かぶり(mm)	27.05
有効高さ(mm)	175.95
総重量(kg)	96.6
主鉄筋比(%)	4.59
せん断補強筋比(%)	0.241



試験体配筋図(mm)

## 概要説明:

本実験は、鉄筋コンクリート梁のせん断挙動の把握を目的として、都市基盤工学科構造材料工学研究室の卒業研究/修士論文の一環として実施したものである。試験体(鉄筋コンクリート製)は、断面を  $150 \times 200$  mm, 全長さ 1400 mm, 支持スパン長 1200 mm, せん断補強筋ピッチ 175 mm とし、せん断破壊を目的とするものである。主鉄筋(軸方向筋)には D16, せん断補強筋

(スターラップ)には D6 を用いた。

載荷方法は、300kN アクチュエータを使用し、変位制御で対象2点集中載荷とした。計測および画像収録を、向かって試験体右側のせん断スパン内として、ここにせん断破壊するように設計／配筋した。載荷時には、載荷荷重、載荷点変位、支点変位、各鉄筋のひずみ等を測定するとともに、非接触による変位測定を試み、実験後、収録画像の画像処理を行った。